

城下町飯田と 飯田藩

令和4年

9月23日(金・祝) ～ 11月6日(日)

城下町飯田のなりたちから
大火復興まで約四〇〇年の歩み

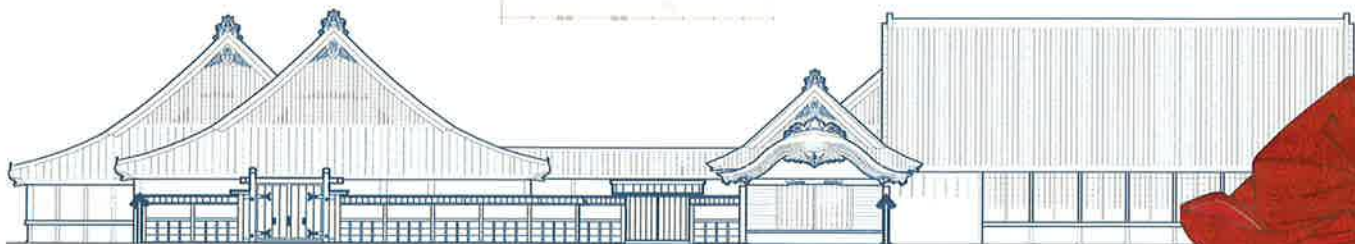
新型コロナウイルスの感染症対策にご協力ください

●体調がすぐれない方は来館をご遠慮ください。

●会場内ではマスクを着用ください。



堀親昌像(飯田市 長姫神社蔵)



飯田城本丸御殿 想定復元図



脇坂安元像(個人蔵)

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 9月26日(月)、10月3日(月)、11日(火)、17日(月)、24日(月)、31日(月)、11月4日(金)

入館料 大人500円(400円)、高校生300円(250円)、小中学生200円(150円) ※カッコ内は20人以上の団体料金

主催 飯田市美術博物館

城下町飯田と飯田藩

令和4年 9月23日(金・祝)～11月6日(日)

長野県飯田市の中心市街地は、かつて飯田城の城下町として栄えてきました。16世紀末、めまぐるしく領主が交代するなかで飯田城の城下町が整備され、江戸初期の脇坂家の治世にほぼ完了したようです。のちの寛文12(1672)年に堀親昌が飯田入りしてからは、明治維新まで200年間にわたり、飯田藩は堀家の治めるところとなりました。飯田の町は東西南北の街道が交わる地の利を活かし、2万石の小藩でありながら、流通・経済・文化の拠点としてにぎわいました。明治維新で飯田城は廃城となり、そして昭和22年(1947)4月に起こった飯田大火で、かつての城下町の面影はほとんど失われてしまいました。これを機に飯田の町は近代的な防災都市へと変貌し、現在に至る景観がかたちづくられていきます。

2022年は堀親昌が飯田城のお殿様として飯田入りして350年。また城下町の基礎を築いた京極高知の没後400年の節目にあたります。本展では、城下町飯田のなりたちから飯田大火後の復興までの約400年の町の歩みを眺めていきます。

付属事業

① 特別講演会 『「結構なる城地」-堀家飯田藩と城下町飯田-』

令和4年10月15日(土) 定員50名・受講料無料
時間・会場 午後1時30分～3時 当館講堂
講師 吉田伸之(飯田市歴史研究所所長、東京大学名誉教授)

② 連続講座 『城下町飯田と飯田藩』

令和4年11月3日(木・祝) A～C各講座定員50名・受講料無料
時間・会場 午後1時30分～4時30分(1講座45分×3講) 当館講堂
講師 A.下平博行(飯田市教育委員会文化財保護活用課)
B.伊坪達郎氏(当館評議員、松川町資料館学芸員)
C.青木隆幸(当館専門研究員)

③ 見学会 『飯田城を歩く』

令和4年10月2日(日) 定員20名・参加無料
時間・場所 午前9時30分～12時 美術博物館周辺(旧飯田城跡)
案内 「城下町サポーター」のみさん

④ 展示解説

令和4年11月3日(木・祝)、11月6日(日)
案内 「城下町サポーター」のみさん
※実施方法、開始時間等の詳細はホームページ等で別途ご案内いたします

申込方法 ①～③は事前予約制です(先着予約順)。お電話にてお申し込みください。
※FAX、メールでの受付はできません
※キャンセルのご連絡はお早めをお願いいたします

申込受付期間 ① 10月1日(土)～14日(金)
② 10月19日(水)～11月2日(水)
③ 9月17日(土)～10月1日(土)

受付時間 9:30～17:30

交通

JR飯田線飯田駅から……徒歩20分
高速バス終点「飯田商工会館」から……徒歩5分
中央自動車道飯田ICから……車15分
中央自動車道摩光寺SICから……車15分



青磁香炉 銘「浦千鳥」(埼玉 遠山記念館蔵)



脇坂安元像(個人蔵)



堀親昌像(飯田市 長姫神社蔵)



iida city museum

飯田市美術博物館

〒395-0034 長野県飯田市追手町 2-655-7

TEL 0265-22-8118

<https://www.iida-museum.org/>



今後の感染状況により、展覧会の運営及び関連事業を変更・中止する場合があります。ご来館前には当館公式サイトにて最新情報をご確認ください。